



## 2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 大倉工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4221 URL <https://www.okr-ind.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 福田 英司  
 問合せ先責任者(役職名) コーポレートセンター財務・(氏名) 木村 雅則 TEL 0877-56-1111  
 定時株主総会開催予定日 2025年3月26日 配当支払開始予定日 2025年3月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2025年3月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期の連結業績(2024年1月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	81,192	3.0	4,564	△7.9	5,111	△5.6	4,359	1.0
2023年12月期	78,863	2.1	4,956	31.4	5,417	26.7	4,315	13.9

(注) 包括利益 2024年12月期 4,461百万円(△25.5%) 2023年12月期 5,986百万円(53.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	363.96	—	7.1	5.0	5.6
2023年12月期	359.29	—	7.4	5.7	6.3

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 一百万円 2023年12月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	103,014	62,075	60.2	5,334.06
2023年12月期	100,272	60,869	60.7	5,031.25

(参考) 自己資本 2024年12月期 62,044百万円 2023年12月期 60,844百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	5,833	△5,708	948	8,949
2023年12月期	8,403	△7,897	△1,194	7,806

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	0.00	—	110.00	110.00	1,330	30.6	2.2
2024年12月期	—	55.00	—	105.00	160.00	1,886	44.6	3.0
2025年12月期(予想)	—	95.00	—	100.00	195.00		51.5	

## 3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	85,000	4.7	5,300	16.1	5,600	9.6	4,400	0.9	378.28

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期	12,414,870株	2023年12月期	12,414,870株
② 期末自己株式数	2024年12月期	783,185株	2023年12月期	321,546株
③ 期中平均株式数	2024年12月期	11,978,973株	2023年12月期	12,010,255株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年12月期の個別業績（2024年1月1日～2024年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	52,775	3.7	1,694	△17.7	5,153	71.4	5,492	91.8
2023年12月期	50,900	4.9	2,059	△8.6	3,006	△9.7	2,863	△25.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期	458.49	—
2023年12月期	238.43	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	100,619	53,566	53.2	4,605.19
2023年12月期	99,106	51,330	51.8	4,244.53

(参考) 自己資本 2024年12月期 53,566百万円 2023年12月期 51,330百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記の業績予想に関する事項については、添付資料の2ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ① 当期の連結経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や雇用・所得環境の改善が進んでいるものの、物価上昇に伴う個人消費の落ち込みや人手不足の継続などにより、おおむね横ばいで推移しました。また、先行きにつきましては、実質賃金の継続的な上昇などによる期待感があるものの、家計の節約志向の高まりや不安定な国際情勢などが懸念されることから、今後を見通すことが依然として困難であり、不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、新規材料事業において中小型パネル用途の光学フィルムの需要が増加したことなどにより、当連結会計年度の売上高は811億9千2百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

利益面では、売上高は増加したものの、新規材料事業において新工場の品質安定化に時間を要し、それに伴う費用が増加したことなどにより、営業利益は45億6千4百万円（前年同期比7.9%減）、経常利益は51億1千1百万円（前年同期比5.6%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産売却益や投資有価証券売却益を特別利益に計上したことなどにより、43億5千9百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 〔合成樹脂事業〕

パッケージ関連では、地球環境保全に対する意識の高まりを背景に環境対応アイテムが堅調に推移し、また、プロセスフィルムにおいても光学・半導体用途が市場の回復に伴って好調に推移しました。一方、農業用マルチフィルムにおいては環境対応アイテムの拡大に努めましたが市場は低位に推移しており前年水準には及びませんでした。この結果、売上高は518億6千1百万円（前年同期比1.7%増）となりました。営業利益は不採算製品の整理や生産体制の改善による生産性の向上などがコスト削減に寄与し、44億5千5百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

#### 〔新規材料事業〕

自動車用途などの機能材料が低調に推移したものの、中小型パネル用途の光学フィルムの需要が増加したことにより、売上高は146億1千1百万円（前年同期比6.7%増）となりました。営業利益は新工場の品質安定化に時間を要し、それに伴う費用が増加したことなどにより、12億4千7百万円（前年同期比32.7%減）となりました。

#### 〔建材事業〕

基盤事業のパーティクルボードでは、安定生産の継続ときめ細かな営業活動により販売数量が堅調に推移しました。また、木材加工事業は住宅着工戸数の減少による影響で上期は落ち込んだものの、下期にかけて非住宅の受注が増加したことで、売上高は128億5千9百万円（前年同期比2.0%増）となりました。営業利益は売上高の増加に加えて、パーティクルボードの生産性向上など原価低減を進めたことにより、9億4千5百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

#### 〔その他〕

ホテル事業で観光客を中心に宿泊が増加したことや情報処理システム開発事業で調剤薬局向けシステムの販売が好調に推移したことにより、その他全体の売上高は18億6千万円（前年同期比19.8%増）となりました。営業利益は売上高の増加などにより、4億9千4百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

#### ② 当期の個別経営成績

当事業年度の売上高は、新規材料事業において中小型パネル用途の光学フィルムの需要が増加したこと及び合成樹脂事業において環境対応アイテムが堅調に推移したことなどにより、527億7千5百万円（前年同期比3.7%増）となり、前年同期比で増加しました。利益面は、売上高は増加したものの、新規材料事業において新工場の品質安定化に時間を要し、それに伴う費用が増加したことなどにより、営業利益は16億9千4百万円（前年同期比17.7%減）、経常利益は、関係会社からの配当金収入が増加したことなどにより、51億5千3百万円（前年同期比71.4%増）、当期純利益は54億9千2百万円（前年同期比91.8%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、有形固定資産が23億3千7百万円減少したものの、その他流動資産が12億7千7百万円、売上債権が12億4千6百万円、現金及び預金が11億4千2百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ27億4千1百万円増加し、1,030億1千4百万円となりました。

一方、負債につきましては、未払金が33億7千1百万円、その他流動負債が23億2千9百万円減少したものの、借入金が42億1千7百万円、仕入債務が32億6千8百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ15億3千5百万円増加し、409億3千8百万円となりました。

また、純資産は、自己株式が12億6千7百万円減少したものの、利益剰余金が23億6千4百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ12億6百万円増加し、620億7千5百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.5ポイント下落し、60.2%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ11億4千2百万円増加し、89億4千9百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は58億3千3百万円となりました。

これは、主として税金等調整前当期純利益60億円による資金の増加によるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は57億8百万円となりました。

これは、主として製造装置等の有形固定資産の取得による資金の減少によるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は9億4千8百万円となりました。

これは、主として借入金の増加42億1千4百万円による資金の増加と、配当金の支払額19億8千7百万円による資金の減少によるものです。

## (4) 今後の見通し

当社グループの次期の業績見通しにつきましては、売上高は新規材料事業において大型液晶パネル向け光学フィルムの稼働率が高まる見込みであることなどにより4.7%増の850億円と予想しております。利益面では、売上高の増加に伴い営業利益は16.1%増加し53億円、経常利益は9.6%増加し56億円、親会社株主に帰属する当期純利益は0.9%増加し44億円を予想しております。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、剰余金の配当につきましては、株主還元を経営上の最重要課題の一つと考え、業績や事業の将来展開に必要な備えなどを総合的に勘案し、安定的な配当を行うことを基本方針とし、毎期の配当額は、「連結自己資本配当率（DOE）」3.0%以上（安定した利益配分の指標）かつ、配当性向30%以上（業績変動利益配分の指標）の継続を目指しております。

当期の期末配当金につきましては、株主還元方針に基づき、5円増配し、1株当たり105円といたします。この結果、当期の年間配当金は中間配当金の55円と合わせて1株当たり160円となります。

中期経営計画(2027)では資本効率性の向上と株主還元の拡充を更に強化するため、DOE0.5%相当の特別配当を実施いたします。これにより、中期経営計画(2027)期間の3年間は、普通配当と合わせてDOE3.5%水準の配当を行います。

次期の配当予想につきましては、上記の株主還元方針に従い、1株当たり195円（中間配当95円、期末配当100円）を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢等を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,806	8,949
受取手形	3,011	1,797
売掛金	18,702	20,170
電子記録債権	8,189	9,182
商品及び製品	5,292	5,786
仕掛品	1,224	1,357
原材料及び貯蔵品	4,967	5,280
販売用不動産	291	282
その他	1,461	2,739
流動資産合計	50,947	55,545
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,032	15,737
機械装置及び運搬具（純額）	8,292	9,480
土地	6,278	5,760
建設仮勘定	8,491	1,737
その他（純額）	522	562
有形固定資産合計	35,616	33,278
無形固定資産		
投資その他の資産	888	1,420
投資有価証券	11,291	10,341
繰延税金資産	130	94
その他	1,398	2,333
投資その他の資産合計	12,820	12,769
固定資産合計	49,325	47,469
資産合計	100,272	103,014

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	17,020	18,873
電子記録債務	672	2,087
短期借入金	1,529	4,471
1年内返済予定の長期借入金	373	389
未払金	5,382	2,010
未払法人税等	765	1,531
設備関係電子記録債務	1,893	1,378
その他	6,437	4,108
流動負債合計	34,075	34,851
固定負債		
長期借入金	—	1,259
繰延税金負債	714	286
退職給付に係る負債	3,789	3,718
その他	823	823
固定負債合計	5,327	6,086
負債合計	39,403	40,938
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,619	8,619
資本剰余金	9,105	9,113
利益剰余金	38,394	40,759
自己株式	△557	△1,824
株主資本合計	55,562	56,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,018	5,017
為替換算調整勘定	236	269
退職給付に係る調整累計額	27	89
その他の包括利益累計額合計	5,281	5,376
非支配株主持分	24	31
純資産合計	60,869	62,075
負債純資産合計	100,272	103,014



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	78,863	81,192
売上原価	63,974	66,019
売上総利益	14,888	15,173
販売費及び一般管理費		
販売手数料	84	96
運送費及び保管費	2,653	2,810
給料	2,103	2,219
賞与	615	630
役員報酬	340	353
退職給付費用	143	139
減価償却費	220	238
研究開発費	1,301	1,481
貸倒引当金繰入額	△0	—
その他	2,469	2,639
販売費及び一般管理費合計	9,932	10,608
営業利益	4,956	4,564
営業外収益		
受取利息	8	55
受取配当金	312	344
為替差益	61	145
雑収入	145	107
営業外収益合計	528	653
営業外費用		
支払利息	17	31
支払手数料	36	51
雑損失	13	24
営業外費用合計	67	107
経常利益	5,417	5,111
特別利益		
固定資産売却益	4	879
投資有価証券売却益	428	2,416
特別利益合計	433	3,295
特別損失		
固定資産除売却損	158	198
減損損失	—	2,077
投資有価証券売却損	1	—
特別退職金	0	—
工場移転関連費用	—	130
特別損失合計	161	2,406
税金等調整前当期純利益	5,688	6,000
法人税、住民税及び事業税	1,379	2,055
法人税等調整額	△8	△418
法人税等合計	1,371	1,636
当期純利益	4,317	4,364
非支配株主に帰属する当期純利益	2	4
親会社株主に帰属する当期純利益	4,315	4,359

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純利益	4,317	4,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,510	△1
為替換算調整勘定	16	35
退職給付に係る調整額	141	62
その他の包括利益合計	1,668	97
包括利益	5,986	4,461
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,983	4,454
非支配株主に係る包括利益	3	6

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,619	9,071	35,094	△829	51,956
当期変動額					
剰余金の配当			△1,014		△1,014
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,315		4,315
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分				274	274
自己株式処分差益		33			33
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	33	3,300	272	3,606
当期末残高	8,619	9,105	38,394	△557	55,562

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,507	220	△114	3,613	20	55,591
当期変動額						
剰余金の配当						△1,014
親会社株主に帰属する 当期純利益						4,315
自己株式の取得						△2
自己株式の処分						274
自己株式処分差益						33
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,510	15	141	1,667	3	1,671
当期変動額合計	1,510	15	141	1,667	3	5,278
当期末残高	5,018	236	27	5,281	24	60,869

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,619	9,105	38,394	△557	55,562
当期変動額					
剰余金の配当			△1,995		△1,995
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,359		4,359
自己株式の取得				△1,276	△1,276
自己株式の処分				9	9
自己株式処分差益		7			7
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	7	2,364	△1,267	1,104
当期末残高	8,619	9,113	40,759	△1,824	56,667

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	5,018	236	27	5,281	24	60,869
当期変動額						
剰余金の配当						△1,995
親会社株主に帰属する 当期純利益						4,359
自己株式の取得						△1,276
自己株式の処分						9
自己株式処分差益						7
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1	33	62	95	6	101
当期変動額合計	△1	33	62	95	6	1,206
当期末残高	5,017	269	89	5,376	31	62,075

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	5,688	6,000
減損損失	—	2,077
減価償却費	4,167	5,404
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5	10
受取利息及び受取配当金	△321	△400
支払利息	17	31
為替差損益 (△は益)	△29	△130
投資有価証券売却損益 (△は益)	△426	△2,416
固定資産除売却損益 (△は益)	58	△769
売上債権の増減額 (△は増加)	△775	△1,235
棚卸資産の増減額 (△は増加)	11	△919
仕入債務の増減額 (△は減少)	△498	3,266
その他	1,608	△4,121
小計	9,506	6,797
利息及び配当金の受取額	323	401
利息の支払額	△16	△31
法人税等の支払額	△1,409	△1,334
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,403	5,833
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,129	△9,073
有形固定資産の売却による収入	3	1,127
助成金の受入による収入	52	346
投資有価証券の取得による支出	△61	△12
投資有価証券の売却による収入	611	3,377
関係会社貸付けによる支出	△468	△790
貸付金の回収による収入	1	109
関係会社出資金の払込による支出	△455	—
その他	△449	△792
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,897	△5,708
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△21	2,938
長期借入れによる収入	—	1,950
長期借入金の返済による支出	△453	△674
リース債務の返済による支出	—	△0
自己株式の取得による支出	△2	△1,276
自己株式の処分による収入	293	—
配当金の支払額	△1,009	△1,987
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,194	948
現金及び現金同等物に係る換算差額	46	68
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△641	1,142
現金及び現金同等物の期首残高	8,448	7,806
現金及び現金同等物の期末残高	7,806	8,949

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品・サービス別に事業活動を展開しており、「合成樹脂事業」、「新規材料事業」及び「建材事業」の3つを報告セグメントとしております。

「合成樹脂事業」は、ポリエチレンフィルム、ポリプロピレンフィルム等の合成樹脂製品の生産・販売、「新規材料事業」は、光学機能性フィルム等の液晶表示関連材料の生産・販売、「建材事業」は、パーティクルボード、加工ボード等の建築資材の生産・販売を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

セグメント間の売上高は、一般的に妥当な取引価額に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	51,005	13,691	12,612	77,309	1,553	78,863	—	78,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	0	8	12	830	843	△843	—
計	51,009	13,691	12,621	77,322	2,383	79,706	△843	78,863
セグメント利益	4,144	1,854	900	6,899	456	7,356	△2,399	4,956
セグメント資産	45,828	23,162	11,394	80,385	2,447	82,833	17,439	100,272
その他の項目								
減価償却費	2,197	904	442	3,544	263	3,807	359	4,167
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,920	5,282	510	8,713	903	9,617	1,531	11,148

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、情報処理システム開発事業ならびに不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,399百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,399百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	51,861	14,611	12,859	79,331	1,860	81,192	—	81,192
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	0	26	31	836	867	△867	—
計	51,865	14,611	12,885	79,362	2,696	82,059	△867	81,192
セグメント利益	4,455	1,247	945	6,648	494	7,143	△2,579	4,564
セグメント資産	45,003	24,486	11,966	81,456	3,051	84,507	18,506	103,014
その他の項目								
減価償却費	2,587	1,710	422	4,721	276	4,997	406	5,404
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,933	963	871	4,768	790	5,559	789	6,348

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、情報処理システム開発事業ならびに不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,579百万円には、セグメント間取引消去△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,572百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### 【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

#### 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

#### 2. 地域ごとの情報

##### (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

##### (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

#### 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

#### 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

#### 2. 地域ごとの情報

##### (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

##### (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	全社・消去	合計
	合成樹脂事業	新規材料事業	建材事業	計			
減損損失	1,842	—	235	2,077	—	—	2,077

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、情報処理システム開発事業ならびに不動産賃貸事業等を含んでおります。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。



## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	5,031.25円	5,334.06円
1株当たり当期純利益金額	359.29円	363.96円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
純資産の部の合計額	60,869百万円	62,075百万円
純資産の部の合計額から控除する金額	24百万円	31百万円
(うち非支配株主持分)	(24百万円)	(31百万円)
普通株主に係る期末の純資産額	60,844百万円	62,044百万円
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式数	12,093千株	11,631千株

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益	4,315百万円	4,359百万円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	4,315百万円	4,359百万円
普通株式の期中平均株式数	12,010千株	11,978千株

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。